

第 8 回地区庶務担当理事連絡協議会

と き 平成 21 年 1 月 28 日（水）午後 2 時 30 分～

ところ 京都府医師会館 101 会議室

△久山副会長挨拶

最近の政局の動き、日医の情勢を報告。医療情勢については「外来管理加算の見直し」「レセプトオンライン化」「公益法人化」についての日医の対応、中医協の状況を報告し、「外来管理加算の見直し」については、安達府医副会長、藤原日医常任理事が中心となり「期中改定」に向けて中医協へ強く働きかけていることを強調した。また本会の状況として、平成 21 年 4 月からスタートする府医看護専門学校助産師課程の概要と新会館建設の進捗状況を報告した。

△報告ならびに協議事項

1. 医療廃棄物の適正処理について（中野理事）

一般廃棄物の中に注射針等が混入されていたため、作業員が負傷されたことを報告。一般廃棄物と感染性廃棄物を混同して処理されないよう、地区へ会員への注意喚起を依頼。（京都医報 H21. 2. 1 号 21 ページ参照）

2. 最近の中央情勢について（内田理事）

平成 20 年 11 月中旬～平成 21 年 1 月中旬の社会・医療保険状況について報告。

3. 指定学校医の更新について（藤田理事）

前年に引き続き「指定学校医の更新について」説明し、地区での周知を依頼。（京都医報 H21. 1. 15 号 40 ページ参照）

4. 京都市立中学校MRワクチン集団的接種について（柏井理事）

各市町村における「平成 20 年度麻疹風しん予防接種率」（H20 年 12 月末現在）の状況を報告。接種率低迷の市町村も多々あり、年度末まで接種率が向上するよう地区会員、学校医の接種勧奨を依頼。また、平成 21 年度から京都市立中学校においてMRワクチン3期集団的接種が実施されることを報告し、実施にあたり、会員への協力を呼びかけた。（H21. 1. 15 号 14 ページ参照）

5. 肝炎対策について（柏井理事）

厚労省において平成 20 年度からB型およびC型肝炎のインターフェロン治療に対する医療費助成が開始されたことを報告。京都府では当初予想 2000 人のところ昨年 12 月までで申請者 813 人と大きく下回っていることから、会員へ患者に対する受診勧奨を依頼。（京都医報 H21. 2. 1 号地域医療部通信(5) ページ参照）

6. 医療安全シンポジウムについて（松井理事）

平成 21 年 2 月 21 日（土）に京都テルサにて「第 6 回京都府医師会医療安全シンポジウム」を開催することを紹介し、多数の参加を呼びかけた。なお、本シンポジウムは「医療法改正に伴う外部研修」の一環として開催されるため、医療機関従事者に対し修了証が交付されることを付け加えた。（京都医報 H21. 2. 1 号 20 ページ参照）

7. 学術講演会の今後の予定について（小野理事）

平成 21 年 2 月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し参加を呼びかけた。

1 月 31 日（土）に府医会館において開催される「ウィルス感染症－インフルエンザの最近の話題－」への参加も呼びかけた。また、現在 314 名の参加応募があるので、公共交通機関での来場を要請した。

8. その他

北川府医理事から「第 7 回地区庶務担当理事連絡協議会」において介護保険における診療情報提供料の算定条件について誤った説明をした旨お詫びと訂正があった。（京都医報 H20. 12. 15 号 46 ページ参照）

9. 地区からのご意見・ご要望

中京西部地区から、府医会員メーリングリストにおいて地区医師会を中傷する文面があったことが報告され、問題のある内容については事前に府医でチェックできないのかとの要望が出された。藤井府医理事から「こうしたことも予想されるということからガイドラインを作成したが、残念ながらこうした問題は避けられない。府医が検閲するのは問題があるので、投稿者は会員に限定しており選定できることから、当事者間で解決していただくのが一番望ましい。注意を喚起するためにも、ガイドラインをメーリングリストに流したい。」と回答した。